

Novomessor cockerelli

(André, 1893)

脚の長い砂漠のスカベンジャーで、働きアリたちが協力して、1匹ではとても運べない大きな獲物を巣へ運びます。



写真：Jake Nitta (froggy143), CC BY 4.0



ひと目でわかる情報



巣の温度
27-32 °C
巣の中



巣の湿度
50-70 %
巣の中



休眠
不要



結婚飛行
7月 - 8月
雨のあと



働きアリ
7-10 mm
どれも同じ大きさ



女王
11-14 mm
女王は1匹



コロニーの規模
働きアリ5,000匹規模
成長速度：速い



脱走リスク
中程度
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう



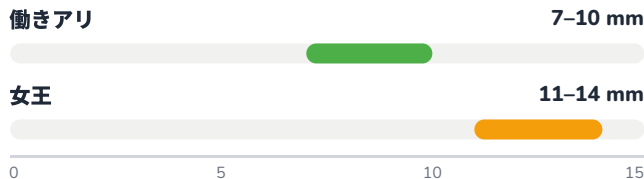
1年をひと目で



この種の実産地での月です。正確な日は天気で決まり、室内で飼育しているコロニーは別のリズムになることがあります。



同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

昆虫

砂糖

おすすめの巣

- Ytongの巣
- アクリル製の巣
- 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- 休眠の管理が不要です
- 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- 一年中、一定の暖かさが必要ですよ



飼育者からのメモ

ヒント

いちばん効果があるのは熱です。巣の一部を暖かく保ち、涼しくて湿った一角も残しましょう。室温で飼ったコロニーは成長が止まり、暖かいコロニーは約1か月で新しい働きアリを育てます。結露しないよう、熱源は貯水部分から離してください。

注意

種子よりタンパク質を多く与えましょう。働きアリは種子よりずっと積極的に昆虫を食べ、種子をためこむ近縁種のように食料をたくわえないので、餌やりの間隔が長くあくのは危険です。小さなコロニーで羽化したばかりの働きアリを、原因がわからないまま失った飼育者もいます。よく拳がった対策は、脂肪の多い獲物を与えることと、もっと温めることでした。食べ残しは1日以内に片付けてください。腐ったタンパク質はダニとカビを呼びます。